

個人山行

熱海：熱海梅園～糸川桜並木

◆日程 2020年1月17日(金)～18日(土)

◆メンバー L：渡辺 豊、会員外1名

アタミザクラを見に行こうと思い立った。アタミザクラの正しい名前はカンザクラ。一ヶ月以上咲き続けるが、やがては花びらとなって地面に舞う。

1月17日(金) 天候：曇

小田急特急ロマンスカー きょうは移動日。ロマンスカーでラックラク。昼食は小田原。キンメの煮つけで熱爛少々。極楽！極楽！

CT：自宅 10:00 - 小田原 - 熱海 - ホテル 15:00

1月18日(土) 天候：雨

メジロ 満開の桜が一本。他は二分咲き。30羽ほどのメジロが蜜を求めて満開の一本に集中している。今年一番のご馳走だ。超スピードで飛びかっていた。大忙しだ。目白押しだ。

ヒヨドリ メジロに混じってヒヨドリも数羽。ヒヨドリは日本周辺にしか生息しない。諸外国の愛鳥家はヒヨドリを見るためだけに来日する。ちなみに、ふだん身の回りをピーヨ、キーヨと甲高い鳴き声で飛んでいるのは、あれ全部ヒヨドリです。

花びら 地面に落ちたサクラのハナビラを見ると、坂本きよ子を思い出す。きよ子の母を思い出す。苦界浄土を思い出す。石牟礼道子を思い出す。




「きよ子は手も足もよじれてきて、手足が縄のようによじれて、わが身を縛っておりましたが、見るのも辛うして。それがあなた、死にました年でしたが、桜の花の散ります頃に。私がちよつと留守をしたら、ましたら、縁側に転げ出て、縁から落ちて、地面に這うとりましたですよ。たまがつて駆け寄りましたら、かなわん指で、桜の花びらば拾おうとしよりましたです。曲がつた指で地面ににじりつけて、肘から血いだして、

『おかしちゃん、はなば』ちゆうて、花びらば指すとですもんね。花もあなた、かわいそうに、地面ににじりつけられて。

何の恨みも言わじやった嫁入り前の娘が、たった一枚の桜の花びらば拾うのが望みでした。

それであなたにお願いですが、文(ふみ)ば、チツソの方々に、書いて下さいませんか。いや、世間の方々に。桜の時期に、花びらば一枚、きよ子のかわりに、拾うてやって下さいませんか。花の供養に」

苦海浄土

石牟礼道子




(記：渡辺 豊)

CT：ホテル 10:00 - 熱海梅園 - 糸川桜並木 14:00 - 小田原 15:00